

花見川第三小学校の適正配置に係る地元説明会 議事要旨

1 日 時 令和3年11月10日(水)

18:30~20:00

2 場 所 花見川第三小学校 体育館

3 出席者 40名

4 教育委員会挨拶(香取教育総務部長)

大変お忙しい中、お集まりいただき感謝する。本会開催に際し、ご尽力いただいた方々に御礼申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、地元説明会の開催時期が本日になったことをお詫びする。

本市における子どもたちの数は、小学校では昭和56年度に9万2千人を記録した後、令和3年5月現在では、その約半分の4万6千人まで減少している。また、花見川第2地区部会でも、ここ15年で0~14歳の年少人口が6割近く減少している。市内の各小学校においても学校規模の縮小化が進んでおり、令和3年5月現在で、小学校108校中、約3割に当たる35校が12学級未満の小規模校である。

そこで、本市では、子どもたちのより良い教育環境の整備と教育の質の充実を図るため、平成16年度より保護者の皆様や地域の皆様と協力して、学校適正配置を進めている。その結果、小学校24校を11校へ、中学校8校を4校へ統合を実施した。直近では、令和2年度に千城台わかば小学校が、今年度は千城台みらい小学校、大宮小学校、高洲中学校が、統合のうえ開校した。

近年、児童数・学級数の減少が顕著となっている花見川第三小学校についても「子どもたちのために」といった視点を最優先に、学校適正配置について検討していきたい。

そのためにも、皆様からの貴重なご意見を頂けるよう、本日の説明会を開催する。忌憚のないご意見をお聞かせいただきたい。

5 教育委員会事務局職員の紹介

6 説明(教育委員会)

(1) 第3次千葉市学校適正規模・適正配置実施方針について

(2) 地元説明会実施までの経緯について

(3) 花見川第三小学校の現状について

(4) 花見川中学校区の小学校について

(5) 今後のスケジュールについて

(6) 跡施設の利活用について

(7) その他

■ 事務局から資料に基づいて、花見川第三小学校の児童数推計、スケジュール等について説明

《質疑応答》

- 意見 1：子どもたちが少なくなり、統合に進んでもやむを得ないと思う。検討の際には、避難所等、地域のことも考えてほしい。花見川団地から、作新小や花島小に何人が学区外通学しているか。
- 企画課：地元代表協議会のなかで、地域との連携についても協議をしていきたい。
花見川第三小学校学区から、令和3年5月1日現在で作新小学校に19人、花島小学校に6人、学区外通学をしている。
- 意見 2：本来ならば花見川第三小学校に通学する児童が、作新小学校や花島小学校に通学していると聞いている、学区外通学することは安全面で課題がある。花見川第三小学校を存続するという立場で適正化の話を進めてほしい。
- 企画課：第1回の地元代表協議会で、学校の適正配置の必要性について協議を行う。花見川第三小学校の子どもたちの教育環境の改善のために最適・最善な方法について、しっかり協議していく。
- 意見 3：以前、統合が話題となった際に教育委員会に「学区外通学を認めないでほしい。」と強くお願いした。統合に向けては、保護者の皆さんの気持ちやどのようにすれば子どもたちが豊かな教育を受けられるかを考えたほうがよい。だからこそ、地元代表協議会の人数を10人ほどに絞りたいとの提案があったが、人数制限をかけずに、今までの地元代表協議会に則ったやりかたで進めてほしい。
- 意見 4：子どもたちが、数年でこのように減ってしまい驚いている。かしのき学級（特別支援学級）や子どもルームは統合した場合、どのようになるか心配である。
- 企画課：先日、花見川第三小学校の特別支援学級の保護者の方々にも、学校で説明会を実施した。過去の例から、統合した場合も、通常学級とともに特別支援学級も統合校に引き継いでいく予定である。子どもルームについては、健全育成課が所管している。入所の希望者数を踏まえて、地元代表協議会や統合準備会などで協議していく。原則として、統合校への設置を想定している。
- 意見 5：地域の避難所や選挙の投票所にもなっている。ぜひ花見川第三小学校を残してほしい。
- 企画課：統合する場合、どこの施設を活用するかについては、地元代表協議会で協議する。避難所を所管する防災対策課より「避難所として指定されている学校が跡施設となった場合、施設の利用が可能な限りは、避難所の指定を継続していくように検討したい」との回答を得ている。
- 意見 6：「花見川第三小学校の保護者は統合を希望している。」という解釈でよいか。統合相手はまだ決まっていないのか。統合した場合、統合校から進学する中学校の選択はできないのか。
- 企画課：花見川第三小学校の保護者からは、保護者会だよりにて、統合に向けた話し合いを進めたいという旨が示されている。適正配置案については、本日のご意見等を参考に教育委員会で作成する。原則、千葉県では指定された学区の小・中学校に通学することとなっているため、自由に学校を選ぶことはできない。
- 意見 7：花見川小学校の統合を経験した保護者である。小規模校は友達同士の仲が良い半面、子どもが切磋琢磨する刺激が少ないため少し幼いと感じた。花見川小学校が開校して4年たったが、統合の弊害もなく子どもたちはとても成長している。地域のことは地域で知恵を絞りながら、保護者の方と連携しながら、一つずつクリアしていけばよい。最優先しなければならないのは、保護者の意見、子どもたちの将来である。
- 意見 8：地域にはいろいろな意見の方がいる。これらを踏まえ、地元代表協議会の人選をしてほしい。

意見 9：(町内自治会連絡協議会会長欠席のため) 会長からの手紙を預かっている。

会長は「地元代表協議会の設立は不要である。協議会を開催すれば時間がかかるため、統合する学校同士の保護者と教育委員会で進めていただきたい。」と述べている。

意見 10：手紙は、地区としての総意ではなく、個人の意見である。地元代表協議会は、ぜひとも開いてほしい。いろいろな人たちの意見が反映されるような場にしてほしい。

意見 11：花島小学校 PTA の者である。統合するなら花島小学校としては、ウエルカムである。

花島小学校は統合から 16 年目となり、現在、各学年 1 クラスである。地域の子どもが減っている。団地に子育て世代の人が増えなければ、この状態は変わらない。地域は、なぜ反対するのか。花見川三小学校の保護者の方の意見はいかがか。

意見 12：花見川第三小学校の保護者である。1 年生は男の子と女の子が 1 人ずつの 2 人であり、運動会で競争する相手もいない。リレーでは、バトンを渡す相手が先生だった。皆さんのお子様が子どもだったころ、クラスに子どもは何人いたか。今の花見川第三小学校の子どもは、皆さんのお子さんと同じような経験はできない。避難所などの問題について切実だと思うが、広い教室で二人だけで勉強している子どもの気持ちを考えてほしい。

意見 13：花見川第三小学校の保護者である。前回の適正配置の話し合いでは、地元の方の反対でなかなか進めなかったという話を聞いた。地元の方の反対も分かるが、先延ばしの結果、今の状況がある。さらに先延ばしになってしまったら、資料のように一学年 5 人の状況になる。そのような状況で学ぶ子どもたちのことも考えていただきたい。

意見 14：反対はしていない。子どもたちの現状や保護者の意見は尊重しなければいけない。今日は地元説明会であり、これまでの 50 年間、花見川第三小学校を支えてきた思いを伝えている。花見川第二中学校に通っていた私の子どもは、花見川第二中学校がなくなったと聞いて泣いていた。

意見 15：学校がなくなって寂しいのは分かる。子どもたちが地元を離れているから子どもが減っているのではないか。

司 会：反対されていないということで確認させていただく。本日は地元の方、保護者の方の忌憚のないご意見を伺う場であり、大変ありがたい。

意見 16：前回の適正配置の話し合いでは、地元の方と保護者が協議し、保護者会で子どもたち全員に意見を聞いた。最終的には子どもたちが反対しているのであれば学校をなくしてはいけないと保護者会で決めて、教育委員会に「花見川第三小学校は統合しない」と話をした。地域の方だけが反対していたわけではない。当時、作新小学校は花見川中学校区外のため、統合対象校ではないという説明があったが、作新小学校が統合相手になる可能性はあるか。

企画課：本日のご意見を参考に、中学校区や通学の安全、学校規模等の要件を検討し、案を作成する。先ほど A・B・C で示したように、基本的には中学校区をベースに考えている。

意見 17：以前、学区変更の意見書を教育委員会に提出させていただいたが、学区を移すことはできないという回答だった。しかし、現実には町会の子どもたちは、作新小学校に進学している。学区をはっきりすることが大切である。学区外への通学を簡単に許可しているのか。

企画課：千葉市では、お住まいの区域によって通学する学校が指定されている。原則として教育委員会が指定した学校以外の学校に入学することはできない。通学区域外の学校への通学の承認理由は、学事課ホームページに掲載されている。設定されている 9 つの承認理由にあたる場合には、学区外

の学校に通学することができる。

学区外通学の承認については、全市共通の同じルールであることをご理解いただきたい。

意見 18：本音としては学校がなくならないでほしいが、現在の状況を踏まえて、この先どうしていくことが良いのかを地元代表協議会や教育委員会に考えてほしい。学校がなくならない案があれば、それに越したことはない。児童がこのまま少なくなってしまうのならば、情報だけでなく、皆が納得できるような案を作成してほしい。

司 会：本日の様々なご意見を受け、議論を進めていく。さきほどの教育委員会提案の通り、地元代表協議会を立ち上げ、教育委員会で案を作成して様々な協議を進めさせていただきたい。

その方向でよろしいか。(反対意見なし)

それでは、地元代表協議会を立ち上げ、進めていく。

企画課：皆様からいただいた意見を参考に、適正配置案を作成する。

司 会：ご質問・ご意見等は、教育委員会企画課に問合せをお願いします。今後も保護者や地域のご理解やご協力をいただきながら進めていく。本日の議事要旨等については、教育委員会のホームページ等でお知らせしていく。以上で、地元説明会を閉会する。